

令和5年度 学校評価書

教育目標：個性を伸ばし、創造力を豊かにして、共に生きる社会に貢献する人間を目指す 「進取」「自律」「融和」

1 学力向上と学習指導の充実（教務情報部）

十分に達成した（A） やや達成した（B） 少々達成できなかった（C） 達成できなかった（D）

重点目標	具体的取組事項	評価方法及び評価指標	取組状況・達成状況	次年度に向けての改善策
(1) 新教育課程を円滑に運用するとともに、授業改善と観点別評価による指導と評価の一体化を図る。	<p>①新旧の教育課程が混在する中で正確に科目選択および成績処理が行われるよう点検を徹底する。</p> <p>②探究的な学習の視点での授業改善を行う。</p> <p>③指導助言者の招聘や先進校視察など、研修を深める。</p> <p>④観点別評価に関する研修会を行う。</p>	<p>①科目選択および成績処理は年次と教務情報部のダブルチェックを徹底する。</p> <p>②授業研究週間に各教科1名以上で探究的な学習を取り入れた研究授業を行っていただくよう促す。</p> <p>③授業公開日に指導助言者を招聘し研修を深める。</p> <p>④評価に関する研修会年1回以上を行い、考査毎に評価方法の確認をする。</p>	<p>①科目選択および成績処理のチェックは行うことができたが、2025年度入試科目の関係で1月以降に科目選択の変更が必要な場合があった。</p> <p>②各教科1名以上で探究的な学習を取り入れた研究授業を行った。</p> <p>③授業公開日は県高校教育課の指導主事および天童二中の先生方3名、学校評議委員1名、九阜会会長1名の参観があり「生徒と教員が生き生きとしており、授業全体に活力を感じました。」などのプラスの意見を多くいただいた。</p> <p>④評価方法についての確認を行い前期の評価についてのミスは確認されなかった。後期期末考査時においてもしっかりと確認しながらミスのない評価が必要と思われる。</p> <p style="text-align: center;">B</p>	<p>①2025年度の科目選択がスムーズに行われるよう各年次進路探究部と協力していきたい。</p> <p>②次年度も授業研究週間に多くの先生方が授業を行い、また参観できるよう計画していきたい。</p> <p>③初任研や中堅研の日程と重なることで午前中の実施となったため、県教育センターや天童二中の先生方の参加が難しい状況だったと考えられる。次年度は午後の実施が可能かどうか検討したい。</p> <p>④次年度以降も各教科主任の先生方の協力を得ながら評価方法を徹底していき、ミスのない成績処理を行わなければならないと考える。</p>
(2) ICTの利活用による魅力ある授業づくり(個別最適な学び)を推進する。	<p>①ICTの利活用に関する事例を共有する。</p>	<p>①ICTの効果的な利活用に関する事例を共有し、学校評価アンケートにおいてICTに係るプラスの評価80%以上を目指す。</p>	<p>①各年次と教職員のクラスルームを開設し、クラスルームを通じて担当者が直接生徒に連絡するようにした。</p> <p>事例共有の研修会については、多くの先生方から情報提供や率直な疑問や意見が出され有意義なものとなった。</p> <p>授業の動画やスライド・課題の指示や解答をクラスルームにアップしたり、生徒たちによる探究の発表スラ</p>	<p>①教室のWi-Fiの状態が悪くなく生徒全員がchromebookを使うと止まってしまう場面があったため、県に報告しながら使い方について改善していきたい。</p> <p>生徒と保護者にICTの利活用に関するアンケートを実施し、どのような利活用を望んでいるかデータを取りながら、教員側の利用だけでなく生徒間での利用も促し、ICTの利活用をさらに活発にしていきたい。</p>

	②ICT の利活用に関する研修会を実施する。	②ICT の利活用に関する研修会を1回以上実施する。	<p>イドの共同制作を行った。さらには Google フォームを利用したアンケートの回収や小テストの実施など様々な場面で活用している事例が共有された。学校評価のアンケート結果は68%であった。</p> <p>②8月にデジタル採点に関する研修会を行った。また授業でのICTの利活用に関する研修会を8月に実施した。 B</p>	②次年度は進路探究部と協力しながらスタディーサプリの利活用についての研修会を実施し個別最適な学びを進めていきたい。
(3) 読書活動を通じて、視野を広げ社会の一員として学ぶ姿勢の育成を図る。	<p>①朝読書の計画を作成し、円滑に運用する。</p> <p>②読書の充実を図り、図書委員を通じて図書館利用を促進する。</p>	<p>①朝読書も含めて年間10冊以上を読破するよう指導する。</p> <p>②学校評価アンケートにおいて図書館に係るプラスの評価70%以上を目指す。</p>	<p>①7月以降は8:35から朝読書をスタートできない生徒が目立つようになっていたが、後期は図書委員による全校放送の徹底や学級文庫の設置、さらには先生方の指導により改善された。7月時点での読書冊数は昨年度と同程度であった。</p> <p>②図書館に係る評価は57%であった。読書離れは進んでいると感じた。 C</p>	<p>①10月に図書委員会で読書週間を実施し朝読書の意義や本の魅力を伝えていく。</p> <p>②利用しやすい図書館について、図書委員会で検討し、生徒目線での利用のしやすさを踏まえ改善していきたい。</p>

重点目標	具体的取組事項	評価方法及び評価指標	取組状況・達成状況	次度に向けての改善策
(1) 進学・就職それぞれにおいて、より効果的に3年間一貫した指導を推進する。	<p>①キャリア教育の一環として、外部講師も活用した親子進路説明会および生徒向けのガイダンスを適切な時期に実施する。</p> <p>②3年次個別指導を全職員で行うにあたり、年次と連携して指導担当者への必要な情報提供を行い、個々の生徒に効果的で適切な指導を行う。</p> <p>③SSP（本校オリジナル手帳）の活用を促し、生徒の自主的な進路活動に繋げる。</p>	<p>①進路ガイダンスの事後アンケートで有効性を評価する。</p> <p>②生徒の指導状況について職員間で情報共有できたか。</p> <p>③生徒の記入の様子や行動の変化・成長で確認する。</p>	<p>①4月PTA総会時に3年次は進路別ガイダンス（全生徒対象）を、2年次は奨学金説明会（希望者対象）を実施。1年次9月16日（土）、2年次10月21日（土）、それぞれ午前開催。</p> <p>②ある程度出来たが、全職員に対して履歴書記載の表現方法（特に資格等）の情報共有が必要。</p> <p>③1年次は月曜朝 SHR で回収、点検を継続している。金曜日の朝読書の時間を利用して記入させているが、生徒の自主的な進路活動に繋がったかは個人差が大きい。 C</p>	<p>①1年次は開催形式 R4 スタイルに戻す（進路・1年次）</p> <p>②8月職員会議で履歴書記載について共有する（進路・3年次）</p> <p>③SSP を生徒に記入させる時間の確保 月～木 8:30 まで記入→朝読書 金 振り返り・予定・計画の記入 月 SHR で回収→担任点検 （進路・教務・各年次）</p>
(2) 第一志望達成に向けた進学指導ならびに、民間就職・公務員指導を円滑に進める。	<p>①進学希望生徒の弱点を把握する。指導力向上のため研修会への参加を奨励する。国公立大をはじめとした難関校希望者への早期指導を実施する。特に2年次後半からは、年次と連携してK&Mチーム（国公立大学志望者・医療看護系進学希望者へのグループ指導）を行う。</p> <p>②1年次後半から3年次まで継続して、外部講師を招聘した公務員講習や就職ガイダンスを行い、生徒の意識高揚を図る。民間就職は希望職種に応じた事業所の情報を共有し、適切に受験先を決定させる。</p>	<p>①学びの基礎診断、各種模擬試験を振り返り、家庭学習に反映されているか。</p> <p>・K&Mチームを効果や継続性を重視し、年次、教科と検討しながら実施できたか。第一志望合格率80%以上が達成できたか。</p> <p>②就職内定100%、公務員試験合格率80%以上が達成できたか。</p> <p>・受験結果に応じて適切な事後指導ができたか。</p>	<p>①家庭学習はまだまだ少ない。K&M（国公立大学志望者・医療看護系進学希望者へのグループ指導）特に医療系進学希望者で進路実現に向け準備した。 国公立大学合格1名。進学希望者の第一志望合格率 <u>88.5%</u></p> <p>②就職内定100%、公務員試験合格率 <u>45.5%</u>。合格、不合格の事後指導は良好。公務員講習Ⅲ・Ⅳ期生徒向け事前指導実施。 B</p>	<p>①医療系進学希望者は目的意識の維持向上、国公立進学希望者は目的意識の明確化に向けて一層の注力が必要。（進路・2, 3年次）</p> <p>②3年次8月、民間企業受験先決定までの日程が短期間で、生徒・保護者への事前指導が重要。（進路・3年次）</p>

<p>(3) 「産人および総合的な探究の時間」を核とした、3年間の体系的な探究学習を推進する</p>	<p>①年次と連携し、3年間を見通した探究型学習「TONARIプロジェクト」(始動2年目)を軌道に乗せる。</p> <p>②生徒の探究テーマが進路達成に役立てられるよう年次のサポートを行う。</p>	<p>①講師の手配や必要に応じた外部との連携など、活動のサポートを行うことで各年次の探究活動が円滑に進んだか。</p> <p>②生徒の希望する進路が達成できたか。</p>	<p>①TONARIプロジェクトについて、年次・アドバイザー・進路の連携は概ね良好。一方で調べ学習に終了している傾向がある。校内アンケートに対する協力体制・質問項目の精査、フィールドワークの促進が必要。</p> <p>②国公立大学合格生徒をはじめ、一部生徒は探究活動の成果を生かして合格している。職員・生徒の発表会や研修会への参加が増えた。</p> <p style="text-align: center;">C</p>	<p>①R6年度は2年次探究活動は通年で1テーマに。また、各年次各班「課題設定」に時間をかける (進路・各年次探究担当・アドバイザー)</p> <p>②校外発表会や先生方の研修についての情報提供、声掛けを継続。すべての班が校外での探究活動発表会に参加を促す。(進路)</p>
--	---	---	--	---

3 生徒指導及び特別活動の充実・強化（生徒保健部）

十分に達成した（A）やや達成した（B）少々達成できなかった（C）達成できなかった（D）

重点目標	具体的取組事項	評価方法及び評価指標	取り組み状況および目標の達成状況	次年度に向けた改善策
<p>(1) 生徒自らが企画し、主体的に参加・運営する生徒会活動・特別活動を推進する。</p>	<p>① 生徒会を中心にあいさつ運動を推進する。 ② 各種委員会の自主的活動を推進する。 ③ コロナ禍ではあるが各種行事等への積極的な参加を促す。 ④ 地域貢献活動に積極的な参画を促す。 ⑤ 部活動への主体的な参加を促す。 ⑥ 学級減に伴う各種委員数や活動内容の検討を行う。</p>	<p>① あいさつ運動への参加回数等で評価する。 ② 各種行事等に対する反省を集約する。 ③ 生徒会活動・行事等への参加に関する生徒のSSP等への記入状況・内容により評価する。 ④ ボランティア等への参加回数等で評価する。 ⑤ 部活動の加入率と大会成績等で評価する。 ⑥ 3クラス規模の適正な委員会数や部活動活数と活動内容の検討を行い、改善する。</p>	<p>① 生活委員会を中心に自主的な取り組みはあったが成果には結びついていない。 ② 各種行事等に対する取り組みは計画通り実施できた。 ④ 外部のボランティアへの積極的な参加も見られ意欲も向上している。 ⑤ 部活動への加入状況はある程度達成できている。 ⑥ 活動内容を踏まえ3学級規模での委員会・執行委員の在り方については継続した検討を行っている。 C</p>	<p>①②③③ 生徒会行事については、生徒の自主的活動とする指導していく。 ④ 今後も啓発活動を行い積極的な参加を促していく。 ⑤ 任意加入制に向けての問題点を集約していく。 ⑥ 現状の問題点を分析していく。</p>
<p>(2) 心身ともに健康的で規律ある学校生活を確立する。</p>	<p>① スクールカウンセラーによる健康相談活動を充実させる。 ② 健康診断や各種検査の事後指導の徹底を図る。 ③ 定期的な身だしなみ点検を行い、清潔感ある服装となるよう指導する。 ④ 携帯電話の使用ルール・時間の遵守できるよう啓発活動・管理指導を行う。 ⑤ 教室移動や集会時における整列など時間に対する意識付けを行う。</p>	<p>① 健康相談活動を年間18回以上実施できたかで評価する。 ② 健康診断後の精密検査受診率が向上しているかどうかで評価する。 ③ 身だしなみ点検の実施状況と個別に指導を受けた生徒者数により評価する。 ④ 生徒・教員による啓発活動の実施状況と生徒の意識や実態の把握に務める。（学校評価アンケートも活用する。） ⑤ 教員・生徒会による声かけ等の啓発活動や集会時等の整列状況等で評価する</p>	<p>① 不登校（欠席30日以上）3人別室登校0人。家庭の問題、体調不良による不登である。 年間計画18回のうち15回終了した。 ② 精密検査未受診者へ2回目の受信勧告書を配付した。さらに、精密検査の受診を呼びかけていく必要がある。 ③ 定期的に身だしなみ検査は実施した。一部の生徒が改善しない。 ④ 携帯電話の校内での利用時間についてはある程度守られているが、所持については徹底していない部分がある。 ⑤ 生徒会役員を中心に声かけ等に努めてきたが、集会時における整列に依然として時間を要している。 C</p>	<p>① 生徒・保護者と学校の連携を図り、ヘルプサポート委員会でも情報を共有し、これからも具体的な支援を検討し実施する。残り3回も計画通り実施する予定である。 ② 精検受診勧告書を再度配付したり個別指導を通して徹底を図る。 ③ 普段の生活における身だしなみの指導の在り方について学校全体で共通理解のもと指導していく。 ④ 重点的な指導期間を設けて指導する。 ⑤ 集会の在り方等については、今後の状況の推移を考慮し実施内容を検討していく。</p>

<p>(3) 個に応じたきめ細かい生徒指導・支援体制を確立する。</p>	<p>① 生徒指導上の問題の共有化を図り、年次やヘルスサポート委員会、いじめ防止対策委員会等と連携し、組織として対処していく。 ② 生徒の安全・安心を確保できる生活環境と生徒間トラブルの未然防止に努める。</p>	<p>① 生徒指導上の問題に対する対処の方法等について、情報の共有が図られているかによって評価する。 ② いじめアンケート調査や問題行動数の把握等から評価する。</p>	<p>① 今年度の各年次等における問題点等については、生徒保健部と年次で情報の共有化を図りながら進めることができています。 ② 生徒間のトラブルが発生しているが、その都度、原因の究明と共有化を図りながら進めてきた。 C</p>	<p>①② いじめを許さない雰囲気づくりに努め、組織的な対応がより一層できるよう、共通理解を深められるよう取り組みを進めていく。</p>
<p>(4) 安全に対する意識の高揚を図る。</p>	<p>① 交通ルール・マナーの遵守、自転車走行上注意等に関する効果的な安全教育・安全管理により生徒の安全を確保する。 ② 保護者・地域との協力により登下校時の生徒の安全の確保に努める。 ③ 交通安全委員等の恒常的な自主的活動を促す。</p>	<p>① 事故件数・苦情件数等の前年・全前年度度の比較や安全管理に関する各種取組の充実度で評価する。 ② 学校評価アンケート（生徒）（保護者）で評価する。 ③ 交通安全街頭指導や交通安全委員会の活動回数等により評価する。</p>	<p>① 交通ルール・マナー遵守等の指導については、指導の内容を検討しながら機会を捉えて行ってきた。事故・苦情件数は少ないが、軽微な接触事故は起きている。 ② 働き方改革の方針を踏まえ、外部との関係や在り方については検討を深めている。 ③ 生徒の自主的な活動はできていない。 C</p>	<p>① 今後も機会を捉えて交通ルール・マナー遵守等に対する啓発活動を行っていく。 ② P T Aとも協力しながら、交通安全に対する意識の高揚を図っていく。 ③ これまで実施できなかった交通安全委員会を中心とした生徒の活動も積極的に推進していく。</p>

4 安全・安心な学習環境の整備（総務広報部）

十分に達成した（A） やや達成した（B） 少々達成できなかった（C） 達成できなかった（D）

重点目標	具体的取組事項	評価方法及び評価指標	取組状況・達成状況	次年度に向けての改善策
(1) 安全点検を実効あるものにし、安全・安心な学習環境を整備する。	月1回の安全点検の結果を、校内グループウェアなどを活用して全職員で共有し、学習環境の整備に努める。	安全点検の確実な実施と公表、点検で確認された異常箇所の修理・修繕等の状況により評価する。	①月に1回の安全点検の実施と結果の共有を確実にに行った。修理・修繕も、事務部の協力によりスムーズであったが、予算の都合や老朽化により修繕ができない箇所があった。（天高会館ファンヒーター・壊れた扇風機処分など） B	①修理・修繕について、危険箇所の優先的対応や、高額修繕の予算確保など、事務部との連携をより密にして進める。
(2) 防災及び情報セキュリティについて、一人ひとりの危機管理意識を高める。	①年2回の防災訓練のうち一回は「シナリオ提示型」、もう一回は「抜き打ち」訓練を行い、より実効あるものにする。 ① 情報セキュリティの強化を図るための情報提供及び職員研修を行い、問題発生皆無を目指す。	①危機管理委員会を開催し、防災訓練の成果と課題を検討する。また、学校評価アンケート（生徒）で防災訓練の成果を測る。 ②情報セキュリティに関する問題発生状況及びその対応で評価する。	①6月に「シナリオ提示型」（予告あり）、10月に「ブラインド型」（予告なし）、危機管理委員会を実施し、職員の防災組織を確認した。アンケートの中で「緊急の際に安全に避難できる」と答えた生徒は全体で93%で、高評価だった。 ②情報セキュリティに関する問題は、今年度は発生しなかった。 A	①効果的な防災指導・防災教育について検討し、「緊急時には安全に避難できる」という生徒の自信をさらに高めたい。 ②『緊急時対応マニュアル』の点検・改定の際に、情報に関する危機管理また犯行予告に関する掲載を検討する。

5 家庭や地域との連携強化と情報発信（総務広報部）

十分に達成した（A） やや達成した（B） 少々達成できなかった（C） 達成できなかった（D）

重点目標	具体的取組事項	評価方法及び評価指標	取組状況・達成状況	次年度に向けての改善策
(1) 校外の様々な地域ボランティア活動を通じて、「地域に貢献し、地域と共に歩む心」を育てる。	①全校で一人一ボランティアの活動を推進し、地域貢献活動を行う。特に、コロナ禍によって昨年、一昨年度中止となった「天童夏まつり」に積極的に参加する。 ②生徒保健部と連携し、地域の行事に進んで取り組んでいくことで、地域の一員としての意識と地域に貢献する態度を育てる。	①生徒のボランティアの総数で評価する。（一人平均一回以上を目指す。） ②学校評価アンケート（生徒）（保護者）により、ボランティア活動・地域貢献活動の成果を測る。	①「天童桜まつり、人間将棋」に2年次24名、「天童夏まつり、花笠おどりパレード」に3年次3名、1年次38名、ボランティアとして1・2年次5名が参加した。また東日本大震災の被災地 寒風沢島へ生徒31名が訪問し、社会貢献することができた。しかし、年間のボランティア報告件数は411件、実人数154人（1月末現在）で年間1人平均1回以上には届かなかった。 ②アンケート「ボランティアや社会貢献活動は活発」は（生徒：69%、保護者74%）で昨年度よりプラス評価が増えている。 B	①②活動可能なボランティアや地域活動の機会を逃さず情報発信し、生徒の地域貢献意識の向上に生かしていかなければならない。

<p>(2) 保護者と連携し、学校行事やPTA諸行事を円滑に行う。</p>	<p>①PTA諸行事の出席率80%以上を目指す。 ②令和5年度の学級減に向けて、PTA諸活動の見直しを図る。</p>	<p>①PTA諸活動の参加率により評価する。 ②各専門部の役員の意見を、目に見える形の変化にまとめることにより評価する。</p>	<p>①PTA総会の参加率50%、第1回評議員会(4月)の参加率83%、天童夏祭りの巡回指導の参加率は40%であった。他に植栽活動、交通安全指導、駐車場係や広報誌編集活動等、様々なPTA行事に積極的に参加していた。 ②PTA評議員の人数減にあわせた専門部の活動は順調であった。</p> <p style="text-align: right;">B</p>	<p>①今後、PとTが協力して行う活動に関して、それぞれのPTA諸活動の内容について検討すべきである。 ②次年度からも新専門部でスムーズに活動できるよう、活動内容の整理を進めていく。</p>
<p>(3) 生徒の活動をはじめ学校の教育活動に関する情報を積極的に発信する。</p>	<p>①興味深く魅力的なホームページを目指して、適切かつ積極的な更新を心がけ、生徒・学校の活動が見えるような情報発信に努める。 ②ホームページ年間運用計画を作成し、全職員が一人1回以上、かつ年間総更新数50回以上を目指す。</p>	<p>①学校評価アンケート(保護者)でホームページによる情報発信について評価していただく。 ②計画に従って一人一回以上更新し、年間50回以上の更新を行ったかで判断する。</p>	<p>①保護者アンケート「ホームページで適切に伝えられている」は79%で、高評価を維持している。 ②ホームページ年間運用計画に基づいて担当者への声かけ等を行った。年間計画の更新は、55件中29件、年間計画以外の更新は46件で合計75件の更新だった。(1/10現在)</p> <p style="text-align: right;">B</p>	<p>①②今後もホームページの適切な更新のため、運用計画の見直しをしていく。また、授業・部活動などについても積極的に更新できるような取り組みを検討するなど、興味深い魅力的な内容にするための方策が必要である。 またインスタグラムの発信も他部と協力しながら検討したい。</p>

学校関係者評価委員から

1 「学力向上と学習指導の充実」について

- 関心があるのは ICT の活用について。天童市図書館でもワイファイを設置して利用できる方向で考えられている。公民館でも ICT について進みつつある。津山小学校の授業参観を見たが子どもたちのタブレット活用はかなり進んでいる印象。例えば一年生の生徒が時計の見方をタブレットに流しそれで書き込ませるやり方をしていた。算数もタブレットを使っていた。そういう意味でも ICT は小学生が使いこなせている。我々の方が使いこなせていない。
- 探究学習に興味がある。国公立推薦入試でも取り入れている。自分で何をしたいのか、自分の発想、何がしくて、そのためにはどうすればいいのか、そのプランを考えるのが得意な生徒がいい。苦手な人をどうひっぱり出すのか、それが先生たちのご苦労するところなのかなと思う。ICT は私も気になる。今の小学生が一番夢中になっているのが自分のタブレットで友達の顔をいじる。子どもの方が操作は早い。変な顔にしたりして、いじめギリギリのからかいがあって、親も先生も困っているところ。ICT はなかなか難しい。やめるわけにもいかない。
- 校長会の役職で生徒指導担当ですが、最近中学校の ICT 活用の問題行動よりも、小学校の方が大変。中学校でのトラブルよりも小学校の方が圧倒的に多い気がする。天童市でもみんな iPad をもっているが、いろんなことをやる子がいるわけで。小学校で経験して、中学校に来ているので、中学校で指導することの方が少なくなっている。学校評価については、本校と同じと言ったら大変失礼だが、保護者の回答率ですが、本校では去年は 80%を超えていたが、今年は 80%いかなかった。コロナ対応が変わって保護者に学校を開放しているが、授業に対する評価が本校も落ちた。天童高校も同じように下がったところ。似たような傾向があると思った。
- 読書離れが気になる。パソコンなどが普及して離れているのかな。自分の子どもも昔はすごく読書をしていたが、パソコンを与えられてしまって文字を見る機会が減ったように思う。今後も朝読の活動を続けてもらいたい。

2 「キャリア教育の推進」について

- 委員に天童を代表する企業さんがいらっしゃいますが、そういう方の話を聞く機会があればいいかと思う。経営者の話というのは、世の中に出るにはどういう知識が必要なのかを知ることができる。学力だけではないように思う。人をまとめて一定の方向に向けるような力が必要。算数が苦手、なにが苦手という事ではない。天童高校の場合、ダンスとか絵とかを含めてかなり優れている。以前天童高校のパフォーマンスを見たが大変すばらしい、プロのようだった。それぞれの能力を発揮させること、必ずしもその人の学力だけで評価するものではない。もっと別な能力に磨きをかけるのが大切なかと思う。
- 全国レベルの大会に出ている仲間がいるのは嬉しい。そういう活躍と同時に地元に残って地元で働くという事に自信をもってもらいたい。卒業したての若い人たち、都会に行った人、地元に残っている人たち、そういった人たちの先輩の声を聴かせるのもいいのかなと感じる。地元に残った人が取り残されたみたいなの、そういうふうになるのはどうかと思う。地域の良さを伝えられればよいのだが。
- 地元の企業を知ろうという企画がある。商工会議所が主催でやっている。32～33の企業を集めてくれて各ブースを作ってそこに子どもたちが行って20分ぐらいの間隔でローテーションをして地元についていろいろ学ぶということをした。地元のことをあまりまだ理解していないということがあってだと思うが、まずは中学2年生を対象にやった。家庭学習については今後小学も中学も課題なのかなと思う。

3 「生徒指導及び特別活動の充実・強化」について

- 関心をもっているのが不登校について、3人ほどいる。高校生は不登校にならないのかと感じていたが、今後とも学校の方の指導をよろしくお願いします。携帯電話については、うちでも、パソコン、タブレット、携帯電話はパスワードを解除しないと使えないようにはしているが、使い方については家庭によって難しいのかなと思う。あいさつの評価はあまりないようだが、学校に来た時は大きい声であいさつをしてもらっている。外ではわからないが、積極的ではないのかな、あいさつをする意味などを教えていただくと良いのかも。
- 天童高校は部活動が活発なのでぜひ伸ばしてほしいと思う。私立の高校では大規模で生徒を集めているところが多いが、なんで私立に行くのと聞くと部活をしたいから、と返事がくる。それだけが学校の魅力ではないと思う一方で、県立でも大会に出て素晴らしいということに自信をもってやっていただきたい。部加入が任意になるというのは本当でしょうか。県で決まったのでしょうか。先生方のご負担が減るのは大事なことでするので難しいですね。
- 本校では、学級減について、今後3クラスというのが長期的な見方。4クラスから3クラスになると、教科のバランスも悪くなる。4クラスだと各学年に国数英を配置できるが、3クラスだと不可能になってくる。生徒減になればいろんな活動も縮小しなければいけなくなったりする。PTAの組織も、体制が1人減にしていろんなところを変えていかないとやっていけなくなる。教員も減るので天童高校と同じだと感じた。
- 交通安全について、最近知り合いから天童高校生の自転車の乗り方が危ないと初めて言われた。校門前の車、保護者の車の止め方が危ない、理解していない保護者がかなりいるのかなと思う。すれ違う時が危ない。生徒が出てきたりして、あ！と思うことがある。看板も見にくい。北側は結構守られているが、南側から来ると看板が見えにくいため看板より中に来てしまう。徹底してもらえないでしょうか、事故にあってからでは遅いと思う。

4 「安全・安心な学習環境の整備」と「家庭や地域との連携強化」について

- ボランティアなどにかなり参加していただいている。若い人が出ていただくと祭りも盛り上がる。一人1ボランティアですが、全体からすると特定の者に限定されてしまっているのかなと思う。天童は昔からのお祭りがあり、30年から40年経過しているので伝統ある祭りとして若い人に頑張ってもらいたい。
- 保育園や介護事業所に行く人もいるわけですが、避難訓練、抜き打ち型があつて、みんなができるというのがびっくりしているところ。本学では抜き打ちはまだできないでいる。
- 校門前保護者送迎について二中に勤めて3年目になるが、私からすれば、停車は良くできているなど感じている。去年の夏ぐらいまではそう思っていた。今は工事をしているので、停めるスペースがあまりない。今年は雪が少ないから良かったと思う。
- 昔だとPTA総会の参加率がとても高かったなという印象。コロナがあけて参加率があがっているようでいいと思う。学級減でPTAの規模の縮小についてですが、教員の人数も減るようですが順調に活動できればいいと思います。